

冷凍・冷蔵倉庫用

カネライトフォーム®

JIS A 9511 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b

地球的視野で現代を見つめると、いまや環境保全は、私たち人間にとって重大な使命となっております。限られた人的・物質資源をいかに効率よく、効果的に活用をするかは、人間が考えなければならない大きな課題と言えるでしょう。

食品流通になくてはならない冷凍・冷蔵倉庫においても、省エネルギー対策の重要性はますます高まってきております。

当社のカネライトフォーム®は、省エネルギー対策に要求される品質を提供するなど、これらの課題分野において大いに貢献しております。活用範囲として、冷凍・冷蔵庫、恒温恒湿倉庫、農業用倉庫はもとより、冷凍車・冷凍コンテナ・スケートリンク・人工スキー場など、さまざまな面で、その優れた断熱性能を発揮しています。



kaneka

■ カネライトフォーム®の特長

「熱と湿気」を探究する株式会社カネカが、より快適な生活空間をつくるために自信をもって送り出した素材がカネライトフォーム®です。熱資源の有効利用と快適な居住性を実現する断熱材カネライトフォーム®は数々の優れた特性を持っています。

優れた断熱性能です

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めることにより、熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑えています。気体を閉じ込めた独立した気泡が熱をさえぎり、結露を抑制します。

優れた圧縮特性

押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bの圧縮強さ20N/cm²以上を確保。

吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した気泡が、断熱の大敵である水を入りにくくし、断熱性能の劣化を防いでいます。

優れた安全性・環境性

JIS燃焼性規格合格、発泡剤のノンフロン化／PRTR法対象物質ゼロ化を実現。

■ カネライトフォーム®の一般物性

JIS A 9511 記号		XPS3bA	XPS3bC	試験法
項目	単位	スーパーE-AK	スーパーEX	
密度	kg/m ³	25以上		JIS A 9511
熱伝導率	W/(m・K)	0.028以下	0.024以下	JIS A 9511
圧縮強さ	N/cm ²	20以上		JIS A 9511
曲げ強さ	N/cm ²	25以上		JIS A 9511
吸水量	g/100cm ²	0.01以下		JIS A 9511
透湿係数	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下		JIS A 9511(厚さ:25mm)
燃焼性	—	合格		JIS A 9511
ホルムアルデヒド放散区分	等級	F☆☆☆☆		JIS A 9511
線膨張率	cm/cm℃	6～8×10 ⁻⁵		JIS A 9511
加熱変形温度	℃	80(短期) 70(長期)		カネカ法
製品厚さ	mm	50/75/100	50/75	JIS A 9511
製品寸法(幅×長さ)	mm	605×910	910×1,820	JIS A 9511

- ・燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を越えて燃焼しない」ことです。
- ・線膨張率はASTM法、加熱変形温度はカネカ法による測定の実測値であり、保証値ではありません。
- ・標準サイズのみ表示しています。その他厚さ、サイズにつきましては、営業所へお問い合わせください。



カネライトフォーム®取扱上の注意事項

■ 火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼や爆発を起こす可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等があたらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

■ 紫外線注意

直射日光に長時間(2～3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかに行ってください。

■ 有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防蟻・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

■ 割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。カネライトフォーム®は主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。

- ・カネライトフォームは株式会社カネカの登録商標です。

製造 株式会社 カネカ Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

東京本社 〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)

(問い合わせ先)

販売 カネカケンテック株式会社 営業本部 住環境営業部

- 北海道営業課 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西3-1-20 TEL.011(222)5231
- 東北営業課 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 TEL.022(722)2901
- 新潟営業課 〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-3-28 TEL.025(248)3860
- 東日本営業課 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-7 TEL.03(6370)2370
- 名古屋営業課 〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1 TEL.052(959)3251
- 西日本営業課 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町4-4-10 TEL.06(6205)3621
- 九州営業課 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1-9-17 TEL.092(778)1001
- ソリューション営業課 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-7 TEL.03(6370)2372



<https://www2.kenzai.kaneka.co.jp>